

# 東建パブリニュース

平成29年12月28日

経営管理本部 広報 I R 室

《このニュースは、当社に関する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成29年12月26日 住宅新報 P. 9

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

住まいづくり、住まい選びのキーワードの1つにあげられるのが「多種多様」。需要者側のそうしたニーズに総合建設事業者として応えるには何を重視し提案すべきか。40余年の実績を積み重ねた不動産活用のパイオニア、東建コーポレーションの左右田稔社長に、多様性への対応と戦略を聞く。



（聞き手・播俊希）  
「これからの住宅戦略の最重要点は？」  
「首都圏への出店加速化に尽きる。最近、金融機関の貸し付け条件が厳格化し、土地の担保価値や将来の賃料収入によっては、賃貸住宅建設の融資が下りないケースが目立つ。地方に比べ収益性の高い首都圏の営業強化は必然だ。新規出店・移設を含め、首都圏に人材を重点投入する方向

住まいづくり、住まい選びのキーワードの1つにあげられるのが「多種多様」。需要者側のそうしたニーズに総合建設事業者として応えるには何を重視し提案すべきか。40余年の実績を積み重ねた不動産活用のパイオニア、東建コーポレーションの左右田稔社長に、多様性への対応と戦略を聞く。

## 首都圏出店を加速化

### 民泊に近いホテル経営も

東建コーポ・左右田稔社長に聞く

総合

（国家戦略特区）によって民泊が合法化されなどを宿泊施設としている

「一方で、アベノミクスの『国家戦略特区』によって民泊が合法化されなどを宿泊施設として提供できる時

代になった。訪日外国人客にとって、ホテルが民泊の選択肢以外に、「民泊に近いホテル」という新しい選択肢も提供

貸家賃物件数もビーカーを減少傾向だ。企業として売り上げを伸ばすには、分母（＝営業マン）を増やすしなくて成長戦略の一手に打って成長戦略の一歩に打って成長戦略の一歩に打つ

にそれ以後、『緊縮』というブレーキを踏み続いている企業がまだ多いが、企業として成長戦略の一歩に打つながら、企業のバックアップ体制（＝商品ラインナップ・メ

ンテナ・システムなどの充実が求められる。こうした二重の体制が構築できない企業は選別・淘汰される

時代が近い将来、到来するだ

ろう」

## 新卒採用、積極的に

新卒採用、積極的に  
「リニア中央新幹線の開業  
やインバウンド需要の拡大は  
商機だ。名古屋市内で高級ホ  
テルビジネスホテルを22年  
までに開業させる。新規参入  
者として競合優位性を得るで  
きるホテル形態の投入が必要  
だが、そのため当社が運営す  
るゴルフ場併設型会員制リ

新規卒者の採用を  
拡大、社内・社外教  
育の充実を図り、優  
秀な人材を育成して  
いくシステムを取り  
入れている。事業拡  
大には人材確保・育  
成が必要不可欠。こ  
れからも、新卒採用

に積極的に取り組んでいく  
――本格的にホテル経営へ  
乗り出す。

――「リニア中央新幹線の開業  
やインバウンド需要の拡大は  
商機だ。名古屋市内で高級ホ  
テルビジネスホテルを22年  
までに開業させる。新規参入  
者として競合優位性を得るで  
きるホテル形態の投入が必要  
だが、そのため当社が運営す  
るゴルフ場併設型会員制リ

以上